

平成 24 年度 松本筑摩高等学校 第 1 回学校評議員会 報告

◆ 平成 24 年度学校評議員（五十音順）

- 岩田 宜己子（精神科ソーシャルワーカー）
- 因幡 宣徳（学校法人未来学舎 広報部長）
- 田口 輝子（松本市会議員、みんなの学校 in 松本企画委員長）
- 直井 雅尚（定通教育振興会副会長）
- 濱 邦彦（島立地区町会連合会長）
- 古町 信也（同窓会長）
- 矢崎 久（松本大学総合経営学部准教授）

◆ 会議の開催

- 6月 25 日(月) ・ 14:25～15:15 授業見学 午後部・通信制 6 時限目 ※参観 1 名
- ・ 15:30～17:00 評議員会（第 1 応接室）
- ・ 本校出席者 学校長 事務長 3 パート教頭 3 パート教務主任
午前午後部 進路指導部主任・生徒指導係主任・生徒相談係

学校からの報告

1. 学校長より

- ・ 多様な生徒が学ぶ場として変化してきた定時制、通信制高校。他校からの転入生も多く、課題もある。「心新たな学びなおしを」、と願う生徒が、自分の道を探していけるよう、学習形態を整える他、キャリア教育を充実させ、社会に送り出すための取組みを行っている。
- ・ 教職員の非違行為防止に向け、取組みを強化している。

2. 各パートの現況と重点目標

- (午前午後) SST を「総合的な学習の時間」の中で実施。卒業までを見通してキャリア教育を行い、自己肯定感・自尊感情をもち、社会的に自立できる力を育成する。
- (夜間) 生徒の 72% がアルバイトをしている。継続して行っているドリル学習を通して、基礎学力の定着を図る他、進路や就職の進路保障の充実を図る。
- (通信) 他校からの転学生が、新入生のほぼ半数を占める。23 年度の単位修得率、卒業率は、若干ながらも上昇。授業、添削指導を更に工夫し、単位修得率の更なる向上が目標。

3. 基礎学力定着に向けた本校の取組みについて

- (午前午後) 個々の学力に応じて補うドリルとして、今年度より、「総合的な学習の時間」の中で、5 教科のドリル学習を実施している。1 教科につき 100 種類用意。
- (午後) 5:30 登校後、SHR を兼ねながら、ドリル学習で、1 日をスタートさせている。H22 年度より、学年毎、教科を決めて、単位の認定もしている。1 年間で 160 回実施。
- (通信) 通信制での学習が継続できるような手立てとして、今年度より、国・数・英の 3 教科について、基礎講座を週一回開講している。

4. キャリア教育と進路指導

- ・ 7 月 2 日求人解禁であるが、就職は厳しい状況。420 人の生徒を積極的に学校の外に出すことを大事にし、オープンキャンパス、就業体験等を経験させている。

5. 生活指導と生徒相談

- ・校外の巡視活動として、地域に出て生徒への声かけやごみ拾いを行っている。それぞれの生徒の良い部分を引き出せるようにすることが課題。
- ・今年度より毎週、職員がファシリテーターとなって、SST を行っている。その子の良さが、認められ、進路希望を実現させるよう全校で支援している。

評議員の方から出された意見・質問

1. 授業、学習

- ・夜間部では、学力の幅のある生徒に対してどのように対応しているのか。e-ラーニングの利用などは考えられないか。

(回答) 個別に対応しているのが現状。e-ラーニングの利用は、現時点では考えていない。

- ・午後部の生徒が、午前中の授業にも多く出席している。午後部の授業時間帯が変わった経過を説明してほしい。

(回答) 2年前より時間の見直しを図り、午後部の登校時刻を前に早めている。午前午後両方の選択科目を取りやすくした。

2. 進路指導・キャリア教育

- ・SST(ソーシャルスキルトレーニング)は、どのように行っているのか。

(回答) 挨拶や自己理解・他者理解といったコミュニケーション力を高めるためのトレーニングを行っている。キャリア教育の一環として、社会へ出ていくための準備ができるよう「総合的な学習の時間」を利用して実施。

- ・基礎学力定着のためのドリル学習も、本人にその気がなければ押し付けるだけになってしまう。生徒本人が壁にぶつかって悩んだときに正しい道を教えていく、そういう指導が必要。
- ・生徒を社会へ出していくためにどういう支えができるのか、何ができるのか悩むが、協力して支えることができればやっていきたい。進路指導の話の中で、「外に出す」という言葉があった。何を経験させていったらいいのかという問題はあるが、指導をお願いしたい。
- ・卒業生の就職状況はどうなっているのか。

(回答) 職業科のように9月15日で決めることは難しい。年を越しても、粘り強く取り組ませる必要がある。入学から卒業まで「自分を知る→社会を知る→社会に出て行くための力を付ける」と段階を踏んで、キャリア教育を行っている。

3. 生徒指導・生徒相談について

- ・大人がまず挨拶をして子ども達にアプローチし、伝えていくことが大事。SSTの実践をよろしく願いたい。地元とのつながりが少ない。つながりを作るため、挨拶を行うことから始めたい。

4. 防災について

- ・災害時の対応はどうなっているのか。

(回答) 単位制であるため、生徒が連続して授業に出席しているとは限らない。生徒の確認方法や災害時の指示の出し方等、情報を集めていきたい。今年度より、緊急連絡できるよう、中部電力のメール配信システムの利用を始めた。